



開放隅角緑内障

虹彩(茶目)と角膜(黒目)の付け根にある隅角は広いが、房水(目の中の栄養水)がしみ出しにくいため、眼圧が上がる病態で、一番多いタイプの緑内障です。



伊藤 勇
保谷伊藤眼科院長
大学病院で最先端の眼科医療に携わってきた眼科専門医。地域の医院との連携を積極的に図っている。

例えば緑内障発症時、未治療での眼圧が20mmHgであれば、目標眼圧は14〜16mmHgとなります。眼圧を下げることで、現在の緑内障治療の唯一の方法です。大切なのは、自分の眼圧に注意を向けること。眼圧を20〜30%下げることにより、70%以上の人が視野狭欠損の速度が低下、もしくは停滞するといわれています。眼圧を下げる点眼は、現在大きく分けて6種類。ただ、6種類全てつけることは組み合わせや、経済的理由、薬の副作用、患者本人ができるかなど、さまざま困難があります。組み合わせられるのはせいぜい3種類。それでも眼圧が下がらなく視野欠損が進行していれば、手術を視野に入れた方が良いでしょう。

眼圧を下げる手術によつて、点眼本数が減少、もしくはゼロになることもあります。現在このタイプの緑内障に対して、大きく分類して2種類の手術があります。一つは房水のしみ出していく線維柱帯を切除してしまう方法、もしくは房水を眼の外、結膜の下にプールを作りそこに出してしまふ方法です。

開放隅角緑内障にも沢

かし、現在では視野がおかしくなるような眼圧を異常値として、その眼圧から20〜30%下げることが治療の目的となっています。

現在大きく分けて6種類。山の種類があり、適した手術方法を選択してもらいましょう。

(次回に続く)



【保谷伊藤眼科】
西東京市北町1-6-1 レッツビルディング3F
☎ 042-439-8123 ※無料駐車場完備
<http://www.itoganka.com/>

■診療科目 眼科：網膜硝子体疾患手術、緑内障手術、白内障手術、眼科一般診療

■診療時間 水・土曜午後、日曜、祝日は休診
※緊急手術には随時対応 ※月・金曜午後は予約優先

	月	火	水	木	金	土	日
9:30~12:30	○	○	○	手術	○	○	/
14:00~17:00	検査・診察	手術	/	手術	検査・診察	/	/